

平成22年度 シラバス	学年・期間・区分	5年生・通年・B群
	対象学科・専攻	機械・電気電子・電子制御・情報・土木
法 学 (Law)	担当教員	松田忠大 (MATSUDA, Tadahiro)
	教員室	一般科目棟 3階
	E-Mail	t_matuda@kagoshima-ct.ac.jp
教育形態 / 単位の種別 / 単位数	講義・演習 / 学修単位[講義] / 2単位	
週あたりの学習時間と回数	〔授業(100分) + 自学自習(200分)〕 × 18回	
〔本科目の目標〕 技術者である前に良識ある市民たれ」というスローガンのもとに、よき技術者としてだけでなく、よき市民として現代社会において生活するために必要な法的知識および法的思考力を養う。法学 との関連において、法学 では、商取引法を中心に取り扱い、現代ビジネスに必要な基礎知識を身につける。		
〔本科目の位置付け〕 本科目は、3年次の政治経済および後学期開講の法学 との関連がある。		
〔学習上の留意点〕 この講義では、限られた時間で多くの内容を学習することになるので、毎回、教科書等を参考に予習(50分程度)復習(150分程度)を行うこと。 六法は毎回の授業で使用するので、必ず持参すること。 法学検定試験問題集4級(2009年度版)を購入し、予習・復習で活用することが望ましい。		
〔授業の内容〕		
授 業 項 目	時限数	授 業 項 目 に 対 す る 達 成 目 標
1. 商人間の売買 (1) 国内売買の形態 (2) 契約の成立とその履行 (3) 国際売買概説	2 2 2	商事売買の多様性および特色を理解することができる。 契約の成立要件、商品引渡、商品の受領について理解することができる。 国際売買契約の成立要件、売買条件、契約条件への不適合と買主の救済制度について理解することができる。
2. 消費者売買 (1) 消費者契約 (2) 販売信用取引 (3) 特定商取引	2 2 2	消費者売買契約の意義と消費者契約法の概要を理解することができる。 信用取引の概要および割賦販売、ローン提携販売等に対する法規制について理解することができる。 特定商取引契約の意義・態様および法的規制の概要を理解することができる。
3. 企業金融 (1) 荷為替信用状取引 ---後学期中間試験--- (2) ファイナンス・リース	2 2 2	荷為替信用状の意義および信用状取引当事者間の法律関係を理解することができる。 項目1～3(1)について達成度を確認する。 ファイナンス・リース契約の意義、契約の成立、契約条項について理解することができる。
4. 商品サービスの流通に関する営業 (1) 仲立人 (2) 問屋 (3) 代理商	2 2 2	仲立人の意義・契約の成立、仲立人の権利義務について理解することができる。 問屋の意義、問屋と委託者、相手方との法律関係を理解することができる。 代理商の意義、代理商契約の概要について理解することができる。
5. 海上運送 (1) 海上運送と海上運送人 (2) 個品運送契約 (3) 傭船契約 ---後学期末試験--- 試験答案の返却・解説	4 4 4	海上運送契約の意義および当事者、海上運送人の意義について理解することができる。 個品運送契約の成立、船荷証券の意義、海上運送人の責任について理解することができる。 他船利用形態としての傭船契約の態様および傭船契約を巡る法律関係を理解することができる。 項目3(1)～5について達成度を確認する。 各試験において間違った部分を理解できる。
〔教科書〕 なし		
〔参考書・補助教材〕 六法		
〔成績評価の基準〕 定期試験(70%) + 平常テスト・レポート(30%)		
〔本科(準学士課程)の学習教育目標との関連〕 1-a, 4-a		
〔教育プログラムの学習・教育目標との関連〕 4-1		
〔JABEEとの関連〕 (a), (b)		